

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市町村名 能勢町

実践研究校名 天王小学校

【公開授業】公開日：平成25年9月27日

対象学年：5年

(教材・教科書名) Hi, friends! 1 (単元名) Lesson 7 “What’s this?”	(本時の指導の目標) ・考えたクイズを出し合い、互いに尋ねたり答えたりしながらクイズを楽しむ ・クイズを通して、英語のコミュニケーションを楽しむ
--	--

(本時の授業において工夫した点)

- ・担任もなるべく英語を使い、担任が英語を楽しむ姿勢をみせるようにした。
- ・担任が“What’s ... in English?”でALTに訊く場面を多くし、英語でどう言うか分からないとき、児童も積極的に訊けるようにした。
- ・参観の先生方にも参加してもらい、大勢でクイズを楽しめるようにした。

(授業後を終えた教員の感想)

- ・児童がさらに自信を持って英語を使えるよう工夫が必要だが、振り返りで「授業を楽しんだ」と書いていてうれしかった。
- ・「分からなかったら訊こう」「動作・表情を大きくしよう」を今後も徹底したい。
- ・ALTとの打ち合わせの時間の確保が難しかった。(月曜日で午前中だけの勤務)

【研究協議会】

(テーマ) 生活の中に英語を取り入れ、コミュニケーションを楽しむために	(指導・助言者) 加賀田 哲也(大阪教育大学教授)
--	------------------------------

(研究協議会で出された意見)

- ・児童2人だが、お互いでのクイズも参観者へのクイズも、楽しんでいた。
- ・授業の進行は担任が行い、ALTは言語面に徹していて、TTの役割がきちんとできていた。
- ・担任が、「分からなかったらALTに訊こうよ」の姿勢を一貫していたのがよかった。
- ・クイズで「ヒントにならないヒント」があった。ヒントの視点を絞る指導が必要。
(例) ①ジャンル→②大きさ→③形→④色→…等

(まとめ)

1. 担任が、言語活動者としてのモデルを示すことが大事。積極的に英語を使っていこう。
2. 分からなければ訊けばいいし、ジェスチャーで補ったり、分かりやすい単語に言い換えてもよい。→ いろんな手段でコミュニケーションをつないでいこうとする態度が、積極的な態度につながる。
3. “fur”で分からなければ、“animal hair”と、より相手に分かる言葉に言い換える → 相手に伝えようとする態度を大切にする。
4. 英語活動の時間以外でも、意識して英語を使っていこう。“What’s this?”は、県名クイズや漢字クイズ等で使えるし、“Here you are.”はどこでも使える。